PlayTech

Viola

はじめてお使いの方に

この度は、PLAYTECH ビオラをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この冊子では、楽器のチューニング方法や、メンテナンス方法等を記してあります。是非お役立てください。

同梱品と各部分の名称

同梱品

ご使用の前に同梱品が揃っているかどうかを確認してください。
不足や破損があった場合は、サウンドハウスまでご連絡ください

楽器本体

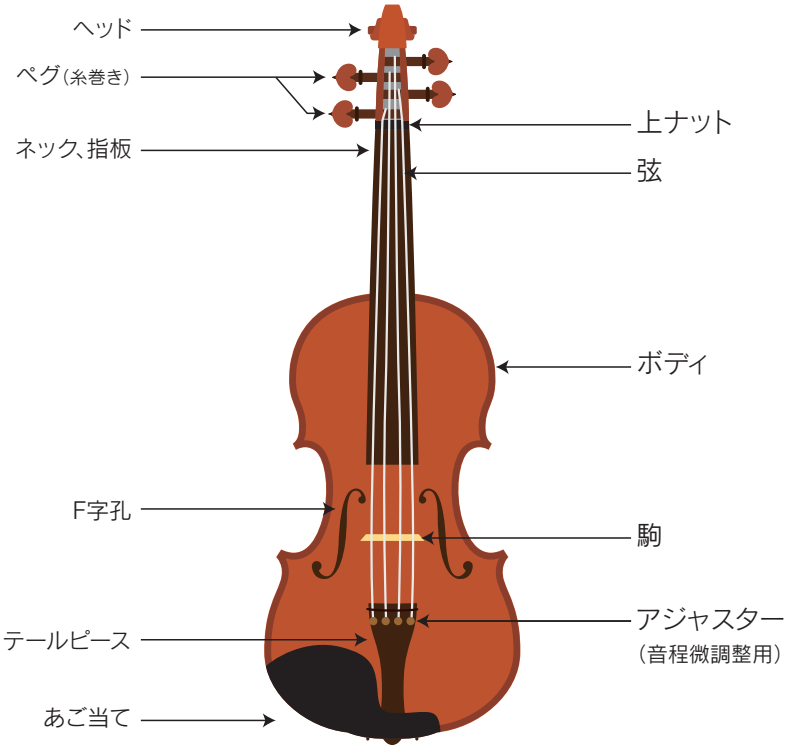
楽器ケース

チューナー
（電池別売）

弓

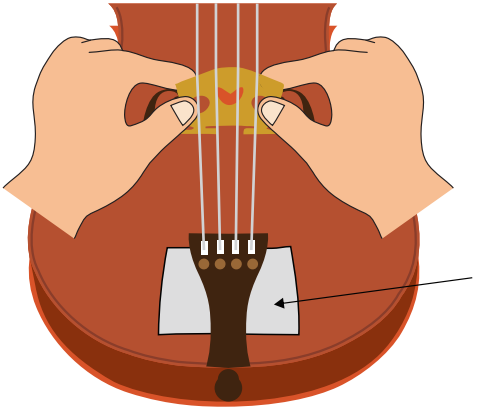
肩当

松脂



駒の姿勢の確認 重要

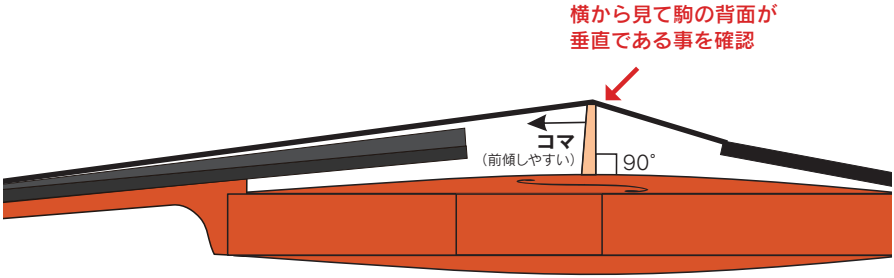
調弦（チューニング）をすると、弦の動きで駒が前傾に動くので、
これを修正する必要があります（駒が倒れたり、変形したりします）。
調弦の途中で駒を横から見て傾きを確認してください



楽器を左の図のようにひざに乗せ、
駒の上部を両手で持ち、傾きを修正
します

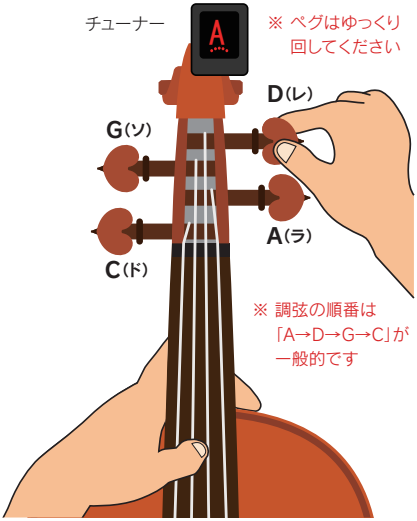
ハンカチなどをテールピースの下に
敷くと、傷の防止になります

下の図を参考に、駒の背面がボディ表面に対して、
垂直になるように調整します



注1）「調弦」と「駒の姿勢の確認」は必ずセットで行ってください
注2）駒の姿勢は調弦の最中、必要に応じてこまめに確認してください

調弦（チューニング）



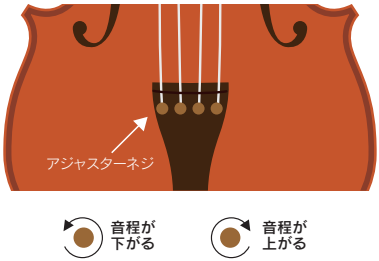
音程が下がる　音程が上がる

椅子に座り、楽器を正面に見て、左手でネックを握り、ももの上に楽器を縦方向で持ちます

ヘッドにチューナーを取り付け、図のように、右手でAとDのペグを操作します

ネックを持つ手の親指の腹で、弦を弾き、その音を聴きながら、音程を合わせていきます

（G、Cを調弦する場合、本体を持つ手は右手になり、左手でペグを操作します）



アジャスターを使い微調整を行ないます。調弦前に左右どちらにも回せる中間程度の位置にしておきます。時計回りで音程が上がります

ペグの構造とスティール弦により、音程の動きが大きく、ペグだけでは正確なチューニングが難しい為、アジャスターネジを使って微調整が必要になります

注）駒の姿勢が変わっていないか、調弦後確認してください

調弦（チューニング）

調弦時の注意

ペグは押し込みながらゆっくりと回してください

急激にペグを回すと簡単に弦が切れます

※不注意による弦の断裂は保証対象外です

チューナーのモードについて

チューナーは「クロマチックモード」を使用ください。最初に音程を確認して、音程を上げ過ぎないように注意しながら調弦しましょう

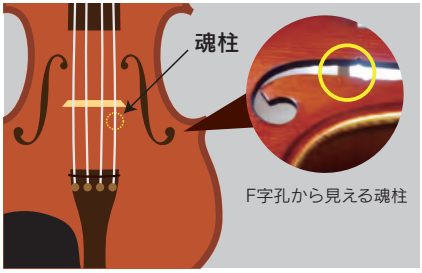
※音程を上げ過ぎると弦が切れる場合があります

参考動画

魂柱の場所とバイオリン・ビオラの持ち方

魂柱の場所

楽器の内部に立っています。高音側のF字孔から覗くと確認できます

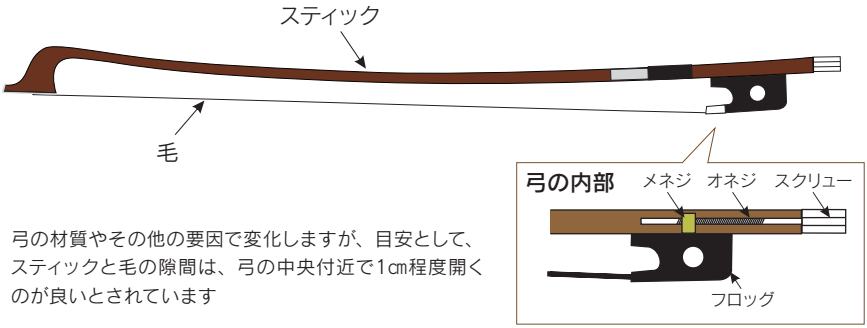


楽器の持ち方

片方の手でネックをつかみ、もう片方でエンドピンを支えるように持ちます

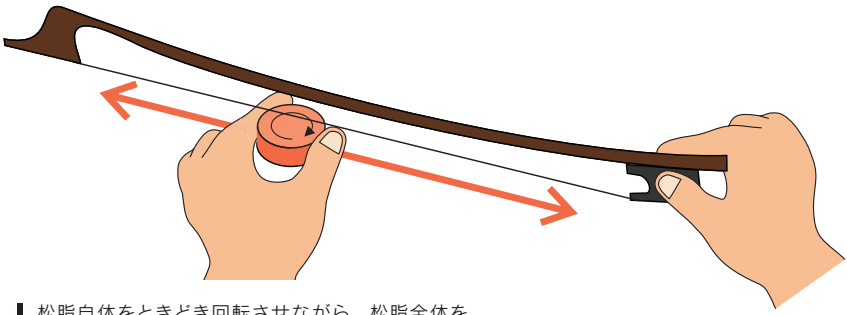
弓の調整 / 松脂の塗り方

スクリューを時計周りに回し、毛に張りを持たせ、松脂を塗り足して下さい。毛の張り加減は、スティックに反りが発生し、弾いて音が出る程度が目安となります



弓の材質やその他の要因で変化しますが、目安として、スティックと毛の隙間は、弓の中央付近で1㎝程度開くのが良いとされています

弓にはあらかじめ松脂が少し塗ってあります。松脂を左手に持ち、右手で弓を持って毛を張った状態で、松脂の表面を毛に軽く押し当て、全体に塗り足します



松脂自体をときどき回転させながら、松脂全体を均等に減らすイメージで、毛にむらなく塗ります

むらなく音が出れば充分です。塗り過ぎに注意してください。

（塗りすぎた場合は、布等で拭き取ってください）

注）弾き終わった後は弓をゆるめてください（毛が伸びると使用できなくなります）

楽器の構え方

肩当ての付け方

幅の広い方が低音側になるように装着します。真横と決まっていませんが、肩当ての脚部を本体にしっかりと付けて使用してください

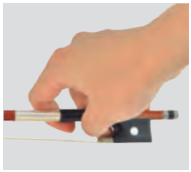
装着方向

装着イメージ

弓の持ち方（右手）

写真を参考に、演奏に適した手の形で持てるように練習しましょう

前側


後側

バイオリン・ビオラの構え方

1. 脚は肩幅ぐらいまで開き、左足を5㎝程度前に出します(立って弾く場合)
2. 肩当てをつけた楽器を持ち、肩当の低音側のくぼみを左肩に乗せて、左顎で挟みます
3. 楽器が体の左斜め45度あたりにくるように持ち、できるだけ水平になるようにします

例: バイオリンの構え方

楽器のお手入れ

- 身体が触れる場所、ネックの裏、糸巻き、あご当て、テールピースなどは乾いた布、または楽器用クロスで拭いておきます
- 楽器用のオイルやポリッシュは、から拭きで落ちない汚れを落としたい時に、必要に応じて用います

※オイルやポリッシュは、汚れと一緒に拭きとるのが基本です
　オイルの光沢感が残る状態で放置しないでください

楽器用クロス（別売）

JOHA ハイグロス･ポリッシュ(別売)
(ワックスポリッシュ)

クリーニングオイルなど（別売）

- 日常のお手入れの基本は、から拭きです。ポリッシュやオイルの塗布と拭き取りに楽器用クロスは使用せずに、ティッシュや、布を使いましょう

※楽器用クロスでオイルやポリッシュを拭いてしまった場合は、使用後クロスを洗ってください

ほこりや松脂をハケではらう

からぶきはメンテナンスの基本

ビオラ・バイオリン共通のメンテナンス方法をサウンドハウスWEBサイト内の「虎の巻」にも記載してます。ぜひご覧ください▶

保管方法 / 発送時の固定方法

バイオリン・ビオラは付属の専用のケースに入れて保管してください

収納イメージ

冬季は、Humitron等で加湿し、夏期はドライフォルテ等の除湿剤で湿度調節することをオススメします（別売）

楽器を発送する場合

調整等のため発送が必要な場合は、下の写真を参考に、できるだけ楽器が動かないようにしてからお送りください

固定例

弓が外れないように
弓留めで固定

ケース内の楽器がガタつかないように
柔らかい紙などを詰める

駒の両脇とテールピースの下に
ティッシュ等を詰める

※発送用として、商品が梱包されていた外箱の保管をおすすめします

よくあるご質問（FAQ）

Q 弦が切れたのですが保証はありますか？

A 弦は消耗品のため、保証対象外です。替えの弦を準備して交換してください

○初心者の場合、正しい音程より1オクターブ上の音程に合わせようとして、弦を切ってしまうケースがあります
○弦の交換の仕方は、サウンドハウスWEBサイトPVA200/300シリーズの商品頁に動画で掲載しています
○弦交換の依頼は修理扱いとなり、弦の代金、送料が発生します

※ご購入後1 ヶ月以内、通常使用において弦が切れた場合に限り交換します

Q ペグが緩んでしまう / 固すぎる

A ペグ・コンポジション（滑り止め/潤滑剤）をお試しください（別売）

○弦楽器（バイオリン、ビオラ、チェロ）の糸巻きは、穴に差し込んで摩擦で固定する仕組みです
○サウンドハウスでは専門スタッフにより、ペグを使って調弦できることを確認してから出荷しています
○ペグは木材で作られている為、湿度が低いと緩みやすく、湿度が高いと固くなります

※どうしても上手くいかない時は、サポートまで連絡ください（調整が必要な場合もあります）

Q 楽器に細かい傷があります

A 弦楽器の製造工程において、細かなキズ、へこみ、色ムラの管理には限界があります

○工場出荷段階で良品と判定された楽器を販売しています
○サウンドハウスでも出荷時に検品し、演奏及び通常のご使用に問題ないと判定したものを出荷しています

※演奏に支障がある大きな傷などがある場合はサポートまで連絡ください

Q 指が黒くなります

A 楽器の色がうつる場合があります。石鹸等で手を洗ってください

○指板、あご当て等の着色パーツが、色うつりを起こす場合があります
○黒檀パーツにおいても、色ムラ補正用の染料が色落ちすることがあります
○弦による金属由来の汚れ（サビなど）が、指に付着することがあります

よくあるご質問（FAQ）

Ⓠ 付属している弓に関して

Ⓐ 付属の弓は、セット内容に応じた商品となります

○PVA200/300シリーズには、専用の弓が付属しておりますが、より良い弾き心地をお求めの方は、
別売りの「 PLAYTECH PAB244 ビオラ弓 」をご購入ください

Ⓠ 弓で弦を弾くと、音が途切れます

Ⓐ 松脂の量が足りない可能性があります

○最初に弓に付いている松脂は検品時にチェック用として少量塗布したものです
○音にムラが出ない程度まで塗り足しをお願いします
○演奏に適切な量は、奏者の好みなど、個人差があります

Ⓠ 製品に張られている弦のメーカーは何ですか？

Ⓐ 市販されている弦ではありません。製造工場にてセットアップ用の弦が張られてます

修理が必要な例

●内部に円柱の棒（魂柱）が転がっている
●表板、裏板が剥がれたり、割れたりしている

※その他、疑問等がありましたら、弊社サポートまで連絡をお願いします

PlayTech

株式会社サウンドハウス 〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL: 0476-89-1111 FAX: 0476-89-2222
Web https://www.soundhouse.co.jp
E-mail shop@soundhouse.co.jp